

# 令和4年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加南高等学校)

目指す学校像	困難に挑戦する強い心と豊かな人間性を育み、グローバルな視点をもって社会に貢献する人材を育成する
--------	---

重点目標	1 主体的・対話的で深い学びの実践、指導と評価の一体化を進め、学習指導の質を高める 2 一人ひとりの生徒理解を基礎とする、自主性を促しつつ、適切かつ組織的な生徒指導を4すめる 3 多様な進路実現に向けきめ細かな指導を継続すると共に、大学入試改革に対応できる進路指導を確立する 4 グローバル人材育成事業及び本校独自のプログラムを通し、地域に開かれた学校づくりを推進する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価(令和 年 月 日 現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業に取り組む姿勢は高く評価できる。生徒が主体的・対話的な学びを実践できる授業改善を目指す。</li> <li>「主体的・対話的で深い学び」を実践し、指導と評価の一体化を進め、学習指導の改善を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体性、探究力等の育成に着眼した授業を実践する。</li> <li>観点別評価の在り方の検討を進める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業公開を実施し対話的学習の実践を推進する。</li> <li>朝学習、学習支援アプリ、家庭学習等を活用し、目標意識を持たせ、学力を向上させる。</li> <li>国際バカロレア等特色のある教育検討事業に参加し、教育課程研究及び授業改善を行う。</li> <li>観点別評価の基準等の作成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>授業公開、研究授業を通して、対話的授業やICT活用授業の実施。</li> <li>成績優良者の増加(昨年度1, 2学期平均11.5%)授業理解度の向上(昨年度87%)朝学習を効果的に実施。</li> <li>先進校視察など教育課程研究に反映</li> <li>観点別評価の基準を共有(研修会、教育課程委員会等)</li> </ol>		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣や規範意識は、ほぼ確立している。行事や部活動等を通して、多様な交流を生み、対話力を向上させ、主体的に活動できるようになってきた。</li> <li>受動的に規範を捉える段階から、自主性・自律性の力を伸ばす段階である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な交流を生み、自らを律し内省的に考察し、自己肯定感を提供する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校行事、部活動等を通して、主体性、対話力等を向上させる。</li> <li>メンタルヘルス研究推進校として、生徒理解に基づいた組織的指導を進める。</li> <li>様々な講演会及びワークショップを通して、規範遵守の意義や自律意識の向上を学ぶ機会を提供する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>コロナ拡大を防止した体育祭、文化祭等の学校行事及び部活動を通しての発信力の向上</li> <li>特別支援委員会、特別支援教育コーディネーターを活用し、組織的な生徒理解の推進と相談体制の整備(2年目)</li> <li>交通安全教育、人権教育、ネット社会、薬物乱用防止の講演会等実施と自律意識の向上の機会を提供。</li> </ol>		
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路希望は多様であり、3年後を見通した進路意識の育成と確かな学力の育成が必要である。</li> <li>個々の生徒の進路実現に向けて、キャリア教育等を進め、さらに職業意識を高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々の進路実現のため、体系的かつ組織的な進路指導を展開する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>計画的なガイダンス等を実施し、キャリア意識を高め、進路実現へつなげる。</li> <li>目標を早期に設定させ、進学講座等の参加率を上げる。</li> <li>英語検定等に係る学習指導を研究し合格率をあげる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>進路行事の生徒満足度の向上(R3年度70%)各種ガイダンス、大学、専門学校等との連携</li> <li>大学入試に向けた対策講座の実施</li> <li>進路検討会、研修会の実施</li> <li>英語検定等の合格者数の増加(R3英検準2級・2級の合格者数95名)</li> </ol>		
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここ2年間、外部機関との交流等がコロナ禍により制限されている。これまでのグローバル教育、生徒会、部活動等の取組の継続を模索しつつ、語学研修(国内)についても実施を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の教育活動を積極的に発信し、生徒の将来を見据えたグローバル教育を展開していく。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>HPの効果的な活用と学校説明会等の工夫により、本校の魅力を地域に発信する。</li> <li>国際バカロレア教育の手法を研究し、語学研修や進学補修を充実させ、生徒の語学への関心を一層向上させる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ホームページ訪問件数</li> <li>生徒募集等の発信方法と内容の改善</li> <li>SDGs ワークショップとフィールドワークを実施(新規)・国内語学研修を効果的に実施(7~8月)</li> </ol>		

学校関係者評価	
実施日(令和 年 月 日)	
学校関係者からの意見・要望・評価等	